

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定率法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 退職給付引当資産

職員の自己都合退職給付に備えるため、退職手当に関する規定に基づく算定額から、中小企業退職金共済制度から支給される額を差し引いた額を計上している。

② 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転されると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	25,944,755	0	4,688,741	21,256,014
減価償却引当資産	4,412,765	51,916	0	4,464,681
小 計	30,357,520	51,916	4,688,741	25,720,695
合 計	60,357,520	51,916	4,688,741	55,720,695

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(0)
小 計	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	21,256,014	(0)	(0)	(21,256,014)
減価償却引当資産	4,464,681	(0)	(4,464,681)	(0)
小 計	25,720,695	(0)	(4,464,681)	(21,256,014)
合 計	55,720,695	(30,000,000)	(4,464,681)	(21,256,014)

4 固定資産の取得価額、当期増減額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、当期の増減額、減価償却累計額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	除却損累計額	当期除却損	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産					
車両運搬具	368,865	0	0	368,864	1
什器備品	1,068,280	0	1	1,048,133	20,146
機械器具	3,211,178	21,299	0	3,047,684	142,195
合 計	4,648,323	21,299	1	4,464,681	162,342

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金	熊本市上下水道局	30,000,000	0	0	30,000,000	指定正味財産
助成金						
受取給水装置診断助成金	熊本市上下水道局	0	68,110,000	68,110,000	0	
受取普及啓発助成金	熊本市上下水道局	0	25,382,000	25,382,000	0	
合 計		30,000,000	93,492,000	93,492,000	30,000,000	